

の審査から

P4
S
P6

協働と自立による 住民主役のまちづくり

◆総務常任委員会◆

**市民の安心安全
を守る取り組み**

●防犯関係対策費

安全で安心なまちづくりに推進協議会の開催に係る経費、防犯思想などの啓発に当たる各種機関の活動の一部助成及び知覧中学校通学路照明灯の修繕料などである。



知覧中学校通学路照明灯

～委員から～
中学校通学路の照明については、市内全中学校において統一された措置を検討するようとの意見が出された。

**移住・定住促進に
向けた取り組み**

●移住定住促進対策事業費

市内への定住と市外からの移住を促進し、地域活性化を図るための移住定住ガイドブック作成に係る委託料、移住定住に伴う住宅取得補助、未婚者出会の場応援のための補助が主なものである。

●財産管理費

公有財産及び賃貸借財産などの維持管理に要する経費で、旧穎娃学校給食センター解体工事や跡地の駐車場整備工事などである。

問 駐車場の用途は。
答 穎娃中央温泉の利用者のほか、穎娃運動公園等で実施されるイベント

時の利用を想定している。

●平和会館管理費（一般経費）

平和会館の管理運営に係る修繕料、委託料及び公有財産購入費などである。

～審査の中で～

問 公有財産購入は。
答 三角兵舎及び掩体壕の跡地を取得し、平和教育推進のために施設の復元を図りたい。

●お茶街道ゆとり館管理費

指定管理料、屋根及び外壁などの改修並びにフェンス設置に係る工事費などである。

～委員から～

指定管理者には協定書の仕様に基づき適切に管理するよう指導すること。市と管理者の責任を明確にすること。

また、フェンス設置に係る工事請負費の執行にあたっては内容を精査するようとの意見が出された。

●消防団員費

消防団員の報酬、費用弁償などである。

～審査の中で～

問 各方面隊ごとに訓練が異なっているが、対応は。
答 防災計画に沿って、各消防団に訓練内容の統一を働きかけた。

～委員から～

各方面隊と連携を取りながら等しく技術の習熟が図られる訓練計画の作成を働きかけるようとの意見が出された。

●消防施設費

大丸分団の消防団拠点施設の地質調査及び実施設計委託料並びに粟ヶ窪分団消防車庫新築工事に係る工事費などである。

～審査の中で～

問 大丸分団拠点施設の車庫の様子は。
答 再編が検討されている牧之田班と中福良班との間に設けることから、積載車2台、もしくは、ポンプ車を格納できる仕様を考えている。



大丸分団拠点施設予定地

一般会計の予算

心の豊かさ創造力を育む
教育・文化のまちづくり

◆文教厚生常任委員会◆

衛生費

環境保全公害対策費

住民からの情報提供や公害防止に伴う水質、悪臭などの検査を実施する経費などである。

〔審査の中で〕

問 川辺地域の野間地区住民から悪臭が酷くて窓も開けられないと聞くが、25年度予算に調査費用が計上されているか。

答 地区内にでんぶん工場があることから、河川の下流3カ所において、年4回水質検査を行い監視しているが、各年度の数値にそれほど変化はない。悪臭についても、市民生活に影響を及ぼすようであれば、定期的に調査を実施し監視する。

教育施設の充実

教育施設整備事業費

穎娃幼稚園は、耐力度調査を実施した結果、所定の耐力度に達していないことが判明したことから園舎改築工事に係る設計業務委託費である。

〔審査の中で〕

問 園舎の耐力度調査の結果が所定の耐力度に達しなかった理由は。

答 穎娃幼稚園は昭和49年に建築され38年が経過している。建築当初は当時の建築基準法に従った構造計算により建築されたが、経年劣化及びびびり割れからの雨漏りにより耐力度に達しなかった。新園舎については、国の学校施設環境改善交付金事業を要望しており、26年度に新園舎を建築する計画である。

〔審査の中で〕

問 3文化会館のうち知覧文化会館のみに工事請負費が計上されているが。

答 3文化会館とも経年劣化により修繕が必要と思われる箇所が多くみられるが、総合計画により建築年度の違いから年次的に大規模修繕を行うとしている。

25年度は知覧文化会館の耐震補強及び外壁改修を行う。

●ミュージアム知覧管理費
歴史及び文化財の保存継承を図るための経費である。

〔審査の中で〕

問 委託料が24年度当初と比較し約1千万円増額となっているが。

答 シアターの映像機器は、開館以来20年使用し、13台の機械により35ミリフィルムで放映しているが昨年の11月に本体の基盤が故障し、今回すべてのシステムを更新することが主な要因である。

福祉の充実

障害者自立支援給付事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、障害者などが必要とするサービス利用などの支援を行う経費である。

〔審査の中で〕

問 障害者自立支援給付事業の扶助費が24年度当初と比較し約1億2千万円増額となった理由は。

答 24年4月からの法令改正により、報酬額が2%引き上げられたことと県がこれまで給付していた施設が、市に移行されたことが主な要因である。



自立支援雇用施設（茶楽里）



知覧文化会館外壁

安心・安全な食の提供と 未来を支える農業のまちづくり

産業建設常任委員会



農業開発センター（穎娃）

農林水産業の振興

● 農業人材育成事業費

本市農業を担う人材の育成、確保を図るため後継者、新規参入者に対し農業後継者育成確保奨励金及び青年就農給付金を支給するものである。

～審査の中で～

問 青年就農給付金の認定見込みは。

答 対象者10名のうち、1名は24年からの継続で残り9名のうち7名はほぼ決定となっている。後の2名についても認定に向け働きかけたい。

● 茶流通拠点施設整備事業

拠点施設構想並びに整備に係る協議会経費や計画書作成の委託料である。

～審査の中で～

問 事業の概要と建設の見通しは。

答 協議会については3年間設置することとし、24年度において流通を含めた茶業振興の基本計画を作成しており、2年目はその基本計画に基づき取り組みを行い施設の事業主体や設置場所、規模などを検討し、3年目は施設の具体的な内容を検討していく。施設建設については準備期間を設け28年を目途に着手したい。

問 整備される施設の具体的な内容は。

答 仕上げや加工施設、冷凍冷蔵庫、集出荷施設が主なものであるが、出品茶工場も併設したい。

土木費

● 市道単独整備事業費

春向谷場線ほか15路線の整備に要する経費である。

～委員から～

市道大川港線の舗装整備が計上されているが、パワースポットとして脚光を浴びている釜蓋神社への観光客も多いことから補助事業などを活用し、駐車場や案内板など周辺整備を含め総合的な整備を進めるようとの意見が出された。

● リバーフロント整備事業費

県が施行する二級河川麓川の護岸整備に伴う経費で土地鑑定委託料、公有財産購入費が主なものである。

～委員から～

リバーフロント整備箇所は武家屋敷群と一体となった潤いとやすらぎの空間と思うが、ふもと橋入口は観光客が入りにくい環境と感ずる。富屋旅館や知覧人形博物館への

導線にもなることから、商工観光課とも連携し名称の再考を含め案内板などの設置により観光客が気軽に足を運べるような方策を検討するようとの意見が出された。

● 社会資本整備総合交付金事業

石垣団地及びふもと尾鉢団地の3点給湯設備工事に要する経費である。

～委員から～

住宅団地間における不均衡をなくすため、シロアリ駆除などを含め、維

畜産業振興費

● 資源リサイクル畜産環境整備事業

県地域振興公社が事業主体となり、家畜排泄物のリサイクルシステムを構築するための堆肥運搬車、保管庫、堆肥施設などに係る農家負担金で、整備後参加農家へ譲渡するものである。



リバーフロント整備予定地（人形館裏）